

# 三河 OLC、高校駅伝 2 位に挑戦！

## 岡崎市民駅伝

三河 OLC  
安齋秀樹

2004 年全国高校駅伝で新記録を樹立したのは仙台育英。これに次ぐ 2 位の豊川工業高校に三河 OLC が挑戦した。

### 岡崎市民駅伝に参戦

今回が第 56 回。毎年開催され、岡崎市内の繁華街を含める 6 区間（中学生は 9 区間）30.1km、女子は 5 区間 11.5 km のレース。

岡崎中央総合公園がスタート、ゴール。特に中学生にとっては一番の目標となる大会で、岡崎市の長距離のレベルアップに一役買っている。（岡崎市の長距離のレベルが伝統的に高いことはよく知られている。）市民にとってもお祭りの行事で、地元紙には全チームのオーダーが載るなど大きく報道される。三河 OLC は 6 年間に安齋秀・安齋善・野田健・内田・稲葉・羽柴のオーダーで 6 位に入賞している。

今年の「一般の部」の注目チームは豊川工業高校。そして、三菱自動車岡崎。かつて富士登山駅伝で 2 位にはいるなど、地方の企業チームとしては中堅として知られていたチーム。最近では元気がないが、岡崎市民駅伝では豊川工業の対抗馬として毎年活躍している。

### 三河 OLC、かく戦えり

区	選手	記録	区間順位	通算時間	通算順位
1 区	松澤俊行	21 分 17 秒	11 位	21 分 17 秒	11 位
2 区	伊藤恭子	13 分 44 秒	29 位	35 分 01 秒	15 位
3 区	金田哲生	23 分 05 秒	9 位	58 分 06 秒	10 位
4 区	樽見典明	13 分 34 秒	22 位	71 分 40 秒	11 位
5 区	羽柴公貴	14 分 15 秒	19 位	85 分 55 秒	12 位
6 区	安齋秀樹	22 分 11 秒	8 位	108 分 06 秒	10 位

1 区松澤が序盤の位置取りに失敗。集団でのスタートに不慣れで、目標の第 2 集団にも対応できなかった。じわじわと順位を上げる走りを見せたが、トップから 2 分遅れの 11 位。

2 区伊藤は強い向かい風の中、3.4km を 13 分台で走破。女性では 2 番目の好タイム。2 区に女性を起用したチームが他にもいくつかあった。

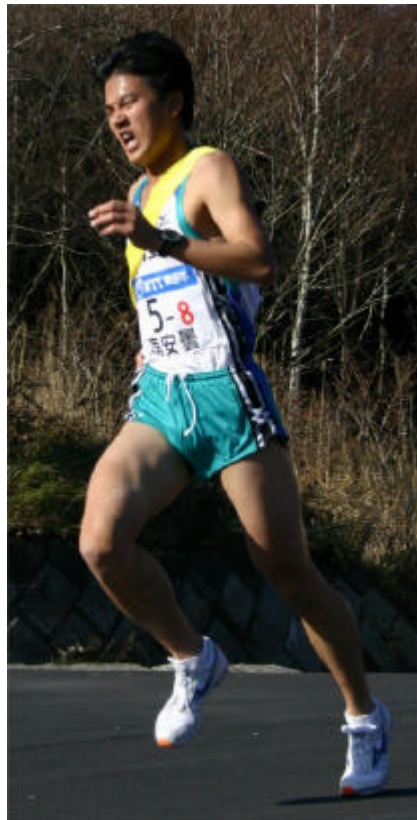
最長 3 区で金田は素晴らしい走りで、5 人抜きを演じた。金田は長野県下駅伝の地区代表にも選ばれており駅伝の魅力にはまっているところ。23 分 05 秒は予想以上のタイム。

4 区は名古屋大学 3 年樽見。2 人に抜かれたものの 1 人を抜き返した。最後

は中部電力と競り合いを演じたが惜しくも先着できず。

5 区は最近実戦から遠ざかっていた羽柴。区間 2 位のノースオカザキ和泉憲昌選手（埼玉県 OL 協会登録）消防署に抜かれたが、失速した岡崎市徒を捕らえた。

最終 6 区は道幅も狭く坂とカーブが多い難コース。安齋は目標の 21 分台には及ばなかったものの 2 チームをかわして辛うじて 10 位でゴールした。



力走する金田哲生。（長野県縦断駅伝 2004）信州中部山岳の大門峠を白樺湖に向かう

### 出場者の感想

1 走：松澤俊行

1 区区間賞・豊川工業の選手は全国高校駅伝上位立役者。2 分の差をつけられ地力の差をしっかりと見せつけられた感じでした。自分の主戦場はオフロード、とは言ってももう少し「地脚」を鍛えなければという思いを新たにしました。大会自体の雰囲気は地元色豊かかつ緊張感も漲っており、非常に良いものと感じました。また都合が付けば参加したいと思います。

2 走：伊藤恭子

自分なりに追い込んで走ることがで

きました。しかしあれだけあとからあとから抜かれることは、人生初体験でした。松澤さんの素晴らしい走りのお陰で、その区間で走る女子は私が最初となり、沿道の皆様が 5m おきに、「女の子だ、女の子来た」というささやきの中特に応援してくださり、ちょっとお得な感じでした。純粋に楽しかったです。チームで走ること、ただがんばって走ること。

3 走：金田哲生

しっかりと準備ができ、走り終えることができました。レースのほうも競り合いの中、襷を受けとって走ることができ、とても楽しかったです。自分ももっと速くなりたいと思いました。

4 走：樽見典明

初めて学校以外の駅伝に出ました。出てみてとても楽しかったです。自分はやっぱり遅かったけど、チャンスがあるならまたでてみたいです。

5 走：羽柴公貴

参加するときはいつもそうなのですが、駅伝はチームで走る楽しさもあり、自分の弱さを痛感させられて、その意味での厳しさもある、今回もやはりそんなレースでした。現状の精一杯で、自分なりに充実感もありました。何かに目標を置きなおし、それに向けてもう一度走り始めたいと思います。

6 走：安齋秀樹

今回も楽しく走れました。自分のレースとしては、納得できるものでした。力不足で、ペースが落ちてしまったところがありましたが、リズムに乗って走れました。チーム全体では準備不足もあり、やや物足りない結果でしたが、入賞するチームのレベルが上がっていたので、仕方ないのかもしれない。自分よりレベルの高い人と競うのは楽しいことですね。

### 岡崎駅伝レース展開

スタートとともに飛び出したのが、豊川工業 A と細川走友会 A。激しい競り合いは中継所まで続き豊川工が 1 秒先着。その後もじわじわと他チームを引き離し、2 位の三菱自動車に 2 分の大差をつけ貫禄を見せた。

（安齋秀樹）